

チャペル週報

No. 11

2014. 6.16 ~ 6.20

神の言葉が臨んだ。

「わたしは彼らに一つの心を与え、
彼らの中に新しい霊を授ける。」

(エゼキエル書11章19節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月16日(月) 神 <キリスト教音楽に触れよう①> 水野 隆一 (神学部教授)
経 経済と人間⑧ 河野 正道 (経済学部教授)
人 溝 畑 潤 (人間福祉学部准教授)
聖 聖書物語 さいしょの王サウル・戦士になったダビデ
理 献血実行委員会 (2)

6月17日(火) 神 李 恩子 (国際学部准教授)
文 音楽チャペル 青木 美緒 (文学部教務補佐)
社 音楽チャペル バロック・アンサンブル
法 栗林 輝夫 (宗教主事)
経 経済と人間⑨ 根岸 紳 (経済学部教授)
商 献血実行委員会
国 献血実行委員会
聖 音楽チャペル ゴスペルクワイア “P.O.V.”
総 Fair Trade “FROM”

6月18日(水) 神 神学部教員による連続チャペル「伝道者教育の現在」東 よしみ (神学部助教)
社 「自由」をめぐって① 岡田 弥生 (社会学部教授)
法 English Chapel Rev.Kennis Lam 林 美恩 (UMC Okamoto Church)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 嶋村 誠 (商学部教授)
人 聖和学生YMCA
国 江原 昭博 (高等教育推進センター准教授)
聖 音楽チャペル バロックアンサンブル
理 献血実行委員会 (3)
総 安藤 真子、土居 達典、中村 宜熙 (総合政策学部2年)

6月19日(木) 神 家山 華子 (神学研究科D1)
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 「自由」をめぐって② 倉島 哲 (社会学部教授)
法 栗林 輝夫 (宗教主事)
経 経済と人間⑩ 田畑 顕 (経済学部教授)
商 English Chapel David Roland Wider (宣教師)
国 志甫 啓 (国際学部准教授)
聖 <くまのテディ>を読んで歌おう 小見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
総 J-FUNユースKG

6月20日(金) 院 栗林 輝夫 (法学部宗教主事)
神 西村 博美 (神学研究科M2)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 献血実行委員会
人 献血実行委員会
聖 わたしのおじいさま、長坂鑿次郎 小見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月20日(金) 留学生のために 神余 隆博 (国際連携機構長)

人生を変えた聖和大学との出会い

高 内 正 子

ICU 病棟の主任看護師を辞めて大学に進学したいと退職希望を提出しようとした時のことがまざまざと蘇ります。家族も職場の人たちも大反対で大騒ぎでした。

何故与えられている仕事を辞めてまで、大学に行く必要があるのかと教会の牧師先生も反対でした。けれども、その時に、今、私は大学で子どものことを学びたいと考えているこの気持ちは、昨年も私の中にあり多分、来年も再来年も変わらないのに違いなく、今できることは早く実行に移す方が後悔しなくて済むし、自己責任の下、ともかく周囲の説得を試み、急ぎ実行したいというのが、私の当時の考えでした。現在もそのように実行したことを良かったと考えております。特に私の両親は、主任にまでなっているのに、今更、大学で何を学ぶ必要があるのかと、説得に苦勞する日々で、私は自分の知識を活かし、子ども達の病気の予防活動をできれば嬉しいと考え、やはり子どものことを学ぶなら聖和と言われた大学で、方法を探りたかったのです。

聖書のマタイによる福音書にある「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。」の御言葉に、当時の思い余った私の背中を押してもらおうようにして、今の私が存在するのだと思っております。有り難いことに、当時聖和大学の学長であられた山川道子先生が私に直接お会い下さり、「看護の知識を是非活かして、子どもの健康について勉強しなさい。」と受け入れて下さり、理解して頂けたことが心強かったのを覚えております。学部卒業の際にも、山川学長に直接「大学院にいらっしゃい。」とお誘い頂き、私の研究者としての旅立ちが始まりました。

聖和大学での学びは、まるで乳幼児が成長の過程で何でも楽しみながら吸収するかのようなものとなり、また、この自然に溢れた学び舎が私は大好きで、チャペルの時間も心から楽しみ、聖和に集うことを嬉しくも誇らしくも感じたものでした。今思うことは、人間はいつ学ばなければならないと決めるものではなく、学びたいと思った時が学ぶ時なのだということです。

(教育学部教授)

●人権教育研究室 第4回公開研究・講演会

主題:「日本に逃れてきた難民を知る 一体験型セミナー」

講師:田中志穂氏(難民支援協会 広報部チームリーダー)

とき:6月16日(月)15:10~16:40

ところ:西宮上ヶ原キャンパス 第5別館4号教室

●2014年度大学主催春季人権問題講演会のご案内

総合テーマ:Culture of Human Rights 人権文化を育む(2010年度~2014年度)

1. 題 目:国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の働きを覚えて

—今日の世界におけるその使命と活動の実際—

講師:マイケル・リンデンバウアー氏(国連難民高等弁務官駐日事務所代表)

とき:6月18日(水) 13:30~15:00

ところ:西宮上ヶ原キャンパス 図書館ホール

*日英逐次通訳、手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

2. 題 目:平等への戦い —LGBT権利の過去と現在—

講師:パトリック・ジョセフ・リネン氏(大阪・神戸アメリカ総領事館総領事)

とき:6月19日(木) 9:00~10:30

ところ:西宮上ヶ原キャンパス B号館301号教室

*日英逐次通訳、手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

3. 題 目:LGBTと人権

講師:南 和行氏(弁護士)

とき:6月20日(金) 13:30~15:00

ところ:神戸三田キャンパス II号館304号教室

*手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施します。(18:00~18:20 1405教室)

主題:「ペンテコステ(聖霊降臨祭)を覚えて」

6月19日(木) 山本 俊 正(商学部宗教主事)

6月26日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

主題:「夏休みを前にして」

7月3日(木) 田 淵 結(宗教総主事)

7月10日(木) 山本 俊 正(商学部宗教主事)

7月17日(木) 舟 木 讓(大学宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月22日(日)10:00~11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間:6月23日(月)~27日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教総部献血実行委員会

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。今後の予定は以下のとおりです。

6月24日(火) 10:35~11:05

10月21日(火) 10:35~11:05

11月18日(火) 10:35~11:05

いずれもランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

●夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第3回 7月3日(木)18:30~20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会